

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
広兼金口地区

平成22年3月
広島県東広島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	交通所要時間	分	10	3	3~5	確定 見込み	● ●	△ なし	あり なし	3	H22年1月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	福富地区中心部への交通利便性が向上したと評価できる。
指標2	通学路の歩道の設置延長	m	0	1,730	1,730	確定 見込み	● ●	○ なし	あり なし	1,730	H22年1月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	歩道を整備したことで、通学時の安全性向上が評価できる。
指標3	地域来訪客数	人/年	50,000	150,000	624,100	確定 見込み	● ●	○ なし	あり なし	631,026	H22年3月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	大型遊具を始めとする施設の魅力が評価され、福富地区への地域来訪客数は大幅に増加し、地域貢献に貢献している。
指標4	地域住民の施設利用率	%	15	50	63	確定 見込み	● ●	○ なし	あり なし	89	H22年3月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	道の駅と福富地区からのアクセス道路整備により、地域住民の文化、スポーツ、交流活動が活発化し、生活の質の向上に貢献している。
指標5	町内交流施設との相互周遊客数	人/年	0	5,000	202,800	確定 見込み	● ●	○ なし	あり なし	195,618	H22年3月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	本施設から福富地区の他の観光交流施設への周遊をしており、福富地区全体の観光振興に貢献している。
指標6	環境学習回数	回/年	2	20	26	確定 見込み	● ●	○ なし	あり なし	66	H22年1月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	環境学習の継続的な実施に伴い、水問題をはじめとする地域住民の環境問題に対する理解と活動への参加の和が広がっている。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定 見込み					H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 見込み					H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み					H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策 (事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	観光交流の推進	案内板の追加及び周辺施設のパンフレット作成	事後評価時より地域来訪客数率が17%向上、相互周遊客数が4%向上した。	当施設のホームページを作成など、ソフト面の充実を図る。
	地域における生涯学習活動の推進	道の駅 多目的ホールを利用、及びイベント時の生涯学習活動実施	事後評価時より環境学習回数が154%向上した。	生涯学習活動の道の駅利用率を更に向上させるため、関係機関への周知を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	地区外からのアクセス強化	国道375号バイパス部分供用	道路整備により、国道375号への交通量を分散させた。	バイパスは部分供用であるため、更なるバイパスの道路改良を推進する。
	「道の駅」周遊道路の円滑な交通処理	駐車場の追加整備	駐車場不足による県道への渋滞影響を解消した。	整備した駐車場の利用率が下がらないように、継続的な地域来訪客確保を図る。
	観光情報の案内強化	案内板の追加及び周辺施設のパンフレット作成	事後評価時より地域来訪客数率が17%向上、相互周遊客数が4%向上した。	当施設のホームページを作成など、ソフト面の充実を図る。

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項